

2024（令和6）年さけます来遊状況（第4報：11/30現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所 さけます部門 資源増殖部

- カラフトマスは奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられており、本年は「偶数年級」にあたる
- 来遊数は35千尾〔前年同期比：40%、2022（令和4）年同期比：13%、平年*1同期比：0.4%〕、1989（平成元）年以降で最も少ない

*1：平年とは、1989（平成元） - 2023（令和5）年の偶数年の平均値

11月30日現在、北海道のカラフトマス来遊数は35千尾〔前年同期比：40%、2022（令和4）年同期比：13%、平年同期比：0.4%〕となりました。

カラフトマスは2年で回帰するため、奇数年級と偶数年級で異なる繁殖集団を形成していると考えられます。本年は偶数年級にあたり、その来遊数は2016（平成26）年以降減少しています。11月30日現在の来遊数35千尾は、1989（平成元）年以降で最も少なくなりました（表1および図1）。

表1. カラフトマス来遊数(北海道)

			単位:千尾		
年	11/30現在	最終	年	11/30現在	最終
2011(平成23)	5,526	5,526	2012(平成24)	2,213	2,213
2013(平成25)	3,250	3,250	2014(平成26)	1,580	1,580
2015(平成27)	2,104	2,104	2016(平成28)	8,899	8,899
2017(平成29)	1,233	1,233	2018(平成30)	6,831	6,831
2019(令和元)	1,094	1,094	2020(令和2)	4,731	4,731
2021(令和3)	761	761	2022(令和4)	262	262
2023(令和5)	88	88	2024(令和6)	35	-
			平年	8,202	8,202

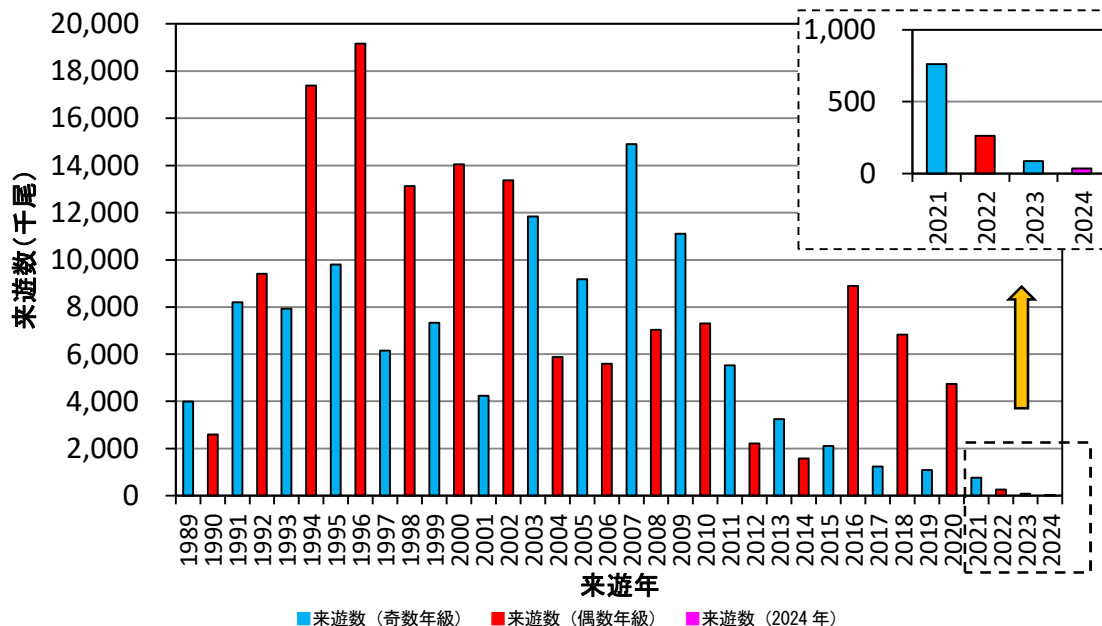


図1. 7月1日～11月30日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2024年は速報値。

来遊数を地域別にみると、太平洋側（根室海区～えりも以西海区）では 17 千尾 [前年同期比：101%、2022（令和 4）年同期比：54%、平年同期比：2%]、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では 18 千尾 [前年同期比：26%、2022（令和 4）年同期比：8%、平年同期比：0.3%] となっています。太平洋側は 1989（平成元）年以降で昨年に次ぎ 2 番目に少ない来遊数、日本海側は 1989（平成元）年以降で最も少ない来遊数となりました。

カラフトマスの河川捕獲数は、11 月 30 日現在で 4 千尾 [前年同期：13%、2022（令和 4）年同期比：8%、平年同期：0.4%] となりました（表 2）。

採卵数については 11 月 30 日現在で 1,763 千粒と前年同期の 11%、2024（令和 6）年度の採卵計画数 1 億 5,690 万粒の約 1.1%となり、河川捕獲数が極端に少なかったことが大きく影響しました。

表 2. カラフトマス河川捕獲数(北海道)

単位：千尾					
年	11/30現在	最終	年	11/30現在	最終
2011(平成23)	592	592	2012(平成24)	257	257
2013(平成25)	477	477	2014(平成26)	264	264
2015(平成27)	239	239	2016(平成28)	755	755
2017(平成29)	184	184	2018(平成30)	925	925
2019(令和元)	222	222	2020(令和2)	732	732
2021(令和3)	213	213	2022(令和4)	49	49
2023(令和5)	30	30	2024(令和6)	4	-
平年				911	911